

平成27年5月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,687,538	210,281	400,942	14.9%	2,286,596		
1. 営業収益	2,295,737	206,766	392,742	17.1%	1,902,995		
1. 給水収益	2,260,332	206,291	391,593	17.3%	1,868,739		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	35,405	475	1,149	3.2%	34,256		
2. 営業外収益	390,920	3,515	8,200	2.1%	382,720		
3. 特別利益	881				881		
9. 水道事業費用	2,455,505	72,864	112,944	4.6%	2,342,561	472,905	19.3%
1. 営業費用	2,140,755	72,797	112,804	5.3%	2,027,951	472,376	22.1%
1. 原水及び浄水費	421,285	22,827	38,153	9.1%	383,132	162,870	38.7%
2. 配水費	291,160	16,605	22,978	7.9%	268,182	78,548	27.0%
3. 給水費	105,626	12,511	16,034	15.2%	89,592	34,685	32.8%
4. 受託工事費							
5. 業務費	162,054	12,954	14,320	8.8%	147,734	148,296	91.5%
6. 総係費	156,203	7,900	21,320	13.6%	134,883	47,976	30.7%
8. 減価償却費	974,327				974,327		
9. 資産減耗費	30,100				30,100		
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	293,027				293,027		
3. 特別損失	1,723	67	140	8.1%	1,583	529	30.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入	3,006,208	842	3,078	0.1%	3,003,130		
1. 企業債	1,646,800				1,646,800		
2. 負担金・補償金	56,528				56,528		
3. 補助金	541,847				541,847		
4. 出資金	745,967				745,967		
5. 加入金	15,066	842	3,078	20.4%	11,988		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出	3,885,920	2,090	4,089	0.1%	3,881,831	1,129,125	29.1%
1. 建設改良費	3,253,813	2,090	4,089	0.1%	3,249,724	1,129,125	34.7%
1. 取水施設整備費	761,076				761,076		
2. 浄水施設整備費	90,688				90,688		
3. 配給水施設整備費	2,399,025	2,090	4,089	0.2%	2,394,936	1,126,533	47.0%
6. 管理施設整備費							
7. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,592	85.7%
8. 災害復旧費							
2. 企業債償還金	632,107				632,107		
12. たな卸し資産購入限度額	61,481	1,488	2,175	3.5%	59,306	47,685	77.6%
①有収水量	8,069,200	734,336	1,378,341	17.1%	6,690,859		
②供給単価	280.12	280.92	284.10	101.4%	△ 3.99		
③給水原価	258.40	99.13	81.84	31.7%	176.56		
人件費	244,982	15,219	36,952	15.1%	208,030		
1. 収益的収支	210,908	13,344	33,079	15.7%	177,829		
1. 職員給与費	210,404	13,344	33,079	15.7%	177,325		
2. 特別職(報酬、賃金等)	504				504		
2. 資本的収支	34,074	1,874	3,873	11.4%	30,201		
* 職員給与費	244,478	15,219	36,952	15.1%	207,526		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.3%	6.5%	8.4%				
2. 全職員	10.8%	7.4%	9.4%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	40,591,166	40,595,251	4,085	
*減価償却累計額	17,426,310	17,426,310		
B. 流動資産	3,022,987	2,954,765	△ 68,222	
1. 現金預金	2,712,061	2,558,501	△ 153,561	
2. 未収金	276,762	227,832	△ 48,930	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	32,433	△ 1,541	
5. 前払費用・前払金	190	130,403	130,213	工事前払金等
6. その他		5,597	5,597	仮払消費税・前払消費
D. 水道事業費用		107,512	107,512	
1. 営業費用		107,383	107,383	
2. 営業外費用				
3. 特別損失		130	130	
1. 借方合計=A+B+C+D	46,840,757	46,884,132	173,589	
E. 固定負債	10,686,104	10,686,104		
1. 企業債	10,368,059	10,368,059		
2. 引当金	318,045	318,045		
F. 流動負債	1,098,533	766,473	△ 332,060	
1. 企業債	632,104	632,104		H27年度償還元金
2. 未払金	394,775	33,914	△ 360,862	未払消費税含む
3. 前受金	77	70	△ 7	
4. 引当金	69,681	69,681		・賞与引当金・修繕引
5. 資本的収入整理勘定	1,197		△ 1,197	
6. その他	699	30,705	30,006	
うち仮受消費税		29,781	29,781	
G. 繰延収益	8,982,207	8,986,400	4,193	
1. 長期前受金	8,982,207	8,986,400	4,193	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,226,604	3,226,604		
H. 資本金	6,026,688	6,027,885	1,197	
1. 自己資本金	6,026,688	6,027,885	1,197	・固有・繰入(出)
2. 借入資本金				=企業債元金-負債勘
J. 剰余金	2,620,414	2,619,071	△ 1,343	
1. 資本剰余金	24,243	22,900	△ 1,343	・非償却資産にかかる
2. 利益剰余金	2,596,172	2,596,172		
K. 水道事業収益		371,389	371,389	
1. 営業収益		363,735	363,735	
2. 営業外収益		7,654	7,654	
3. 特別利益				
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	46,840,757	46,884,132	43,375	

a. 供給単価(円、銭)	263.06	=給水収益÷有収水量	
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除	
①実数値	106.09	=原価算入額÷有収水量	当月予算
②シミュレーション	285.04	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの	
c. 施設利用率	73.38%	=一日平均配水量÷施設能力	
d. 有収率	87.96%	=有収水量÷配水量	
e. 流動比率	385.50%	=流動資産÷流動負債	
f. 現金預金比率	333.80%	=現金預金÷流動負債	

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成27年 5月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,704	61,380	61,100	60,811	280	569
2 調定量	m ³	730,108	1,369,886	1,351,700	1,355,252	18,186	14,634
3 調定料金(税抜)	円	191,010,226	362,586,019	352,800,000	356,638,877	9,786,019	5,950,791
4 口振加入件数	件	25,597	51,057	-	50,982	-	75

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	82,499	-	83,101	△ 602
6 給水件数	件	30,508	-	30,289	219
7 開栓処理件数	件	235	816	847	△ 31
8 閉栓処理件数	件	277	558	566	△ 8
9 給水工事設計審査	件	66	131	160	△ 29
10 給水工事竣工検査	件	55	120	212	△ 92
11 経年メーター交換	件	202	306	451	△ 145
12 メーター口径変更	件	0	2	15	△ 13
13 月末停止件数	件	△ 1	70	118	△ 48

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	215,079,516 円	45.08 %	207,029,106 円	45.55 %
15 過年度分	8,014,639 円	95.71 %	7,961,765 円	95.91 %
16 全体(計)	223,094,155 円	-	214,990,871 円	-

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	6	16	12	13	9	8	14	5	102	114	216

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	25/25	11/11	7/7	3/3	4/4	3/3	5/5	1/1	9/9	4/4	0/0	0/0
契約締結	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	17	6	5	2	1	0	2	0	9	4	0
	随契	4	1	1	0	0	0	3	1	0	0	0
合計	21	7	6	2	1	0	5	1	9	4	0	0

※入札中止 当月 0件:累計0件/入札不調 当月 0件:累計0件/入札取消 当月 0件:累計0件/未契約 4件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	0	0	
中間検査	0	0	
合計	0	0	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
第2回安全衛生委員会	12日	行事計画及び日程調整
第2回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	13日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
水道ブースター会議	22日	事業計画等
第2回経営分析会議	20日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
給水拠点設置訓練(南方総合支所)	21日	給水拠点設置訓練
部長等連絡調整会議	7日	事業打合せ等
第3回事業調整会議	11日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
例月出納検査	26日	月例監査
指名委員会	-日	第3回5/14(優良工事審査委員会)第4回5/28
入札	-日	5/14、5/28
緊急メールの発出	-日	漏水2、水質2、地震1(災害対策本部)、異常流量1計6

特記事項

1. 5月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益(税込)は206,291千円で、4月期に比べて20,989千円の増、予算執行率(累計)は17.3%、対前年同月比では7,605千円(税抜7,041千円)の増となっています。

当期の営業費用は72,797千円で、対前年同月比19,237千円の増となっています。

②資本的収支

当期の収入は、水道加入金842千円となっています。支出は、配給水施設整備費で2,090千円となっています。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品で1,465千円、印刷物に23千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 平成26年度決算の概要

平成26年度決算を調製し、5月18日付けで市長へ提出しました。決算の概要は次のとおりです。

収益的収入 26億4,758万円 収益的支出 26億2,244万円

資本的収入 9億8,730万円 資本的支出 18億8,116万円

純損失 5,071万円

平成26年度の給水収益は、全体として計画を下回り前年度比99.4%、21億849万円(予算比810万円減)で決算した。また、会計基準の見直しにより退職手当引当金3億9,198万円を費用化したため、当年度純損失5,071万円を計上することとなった。

(2) 市民参加の新たな森林づくり・春 ～みどりの森を次の世代に～

市民参加の新たな森林づくりが5月24日(日)に津山町横山宇大萱沢地内で実施されました。当日は、市民の参加者、みどりの少年団等186名が参加、事業所からは職員3名と給水車1台で参加しました。植樹の後、給水車の水を提供し、参加者全員で昼食のおにぎりをいただきました。



(3) 優良工事施工業者表彰審査会を開催

水道事業優良工事施工業者表彰審査委員会を5月14日に開催しました。26年度の事業所発注の300万円以上の工事52件を対象に審査を行い、優良事業者5社の表彰を決定しました。表彰式は7月3日に市長部局と合同で開催します。

(4) 職場巡視を実施

安全衛生委員会委員による職場巡視が5月29日に実施されました。職場内の危険、有害要因を見つけ、その対策を講じ、職場内の災害等を未然に防止するため行われたもので、今回は机上の整理整頓と書類等の整理、ファイル等による通路の安全確保と車庫の整理整頓について改善するよう担当者等に通知しました。

(5) 5月期災害訓練を実施

5月期の災害訓練を5月26日に実施しました。

5月13日6時13分に発生した宮城県沖を震源とする最大震度5強(登米市震度5弱)の地震時における検証と反省点について各班長からの報告と、今後に向けた話し合いを行いました。

平成27年 5月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位:m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	873,360	1,709,361	1,667,000	1,767,036	42,361	-57,675
総配水量	834,813	1,630,445	1,619,720	1,685,393	10,725	-54,948
1 有効水量	785,129	1,477,809	1,462,280	1,498,061	15,529	-20,252
(1)有収水量	734,336	1,378,341	1,360,100	1,365,519	18,241	12,822
(2)無収水量	50,793	99,468	102,180	132,542	-2,712	-33,074
2 無効水量	49,684	152,636	157,440	187,332	-4,804	-34,696
(1)漏水量	49,522	152,393	156,000	186,232	-3,607	-33,839
(2)その他無効水量	162	243	1,440	1,100	-1,197	-857
3 有収率	87.96	84.54	83.97	81.02	0.57	3.52

※当月期の最大配水量は、1日(金)に記録した【29,348m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位:件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	3	761,076	0	0	0	0	761,076	0%
イ 導水施設整備事業	1	188,460	0	0	0	0	188,460	0%
ウ 浄水施設整備事業	14	90,680	0	0	0	0	90,680	7%
エ 配給水施設整備事業	94	2,399,025	11	1,122,444	0	4,089	1,298,365	47%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人件費)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数:7)	東和町水系 (測定戸数:6)	石越町水系 (測定戸数:2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数:1)
平均	0.58	0.43	0.30	0.57	0.40
最低	0.53	0.22	0.20	0.35	0.34
最高	0.63	0.67	0.70	0.76	0.45

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H27.5.19	<0.4	<0.5	米谷水系浄水場	H27.5.19	<0.8	<0.7
石越浄水場	H27.5.18	<0.5	<0.5	楼台水系浄水場	H27.5.19	<0.5	<0.7
大萱沢浄水場	H27.5.19	<0.5	<0.5	合ノ木浄水場	H27.5.19	<0.6	<0.7
米川水系浄水場	H27.5.19	<0.7	<0.7	大綱木浄水場	H27.5.19	<0.6	<0.8
錦織水系浄水場	H27.5.19	<0.4	<0.5	—	—	—	—

特 記 事 項

1 カビ臭発生に関する情報連絡体制の確認

27日午後、国土交通省北上川ダム統合管理事務所職員が来庁し、昨年9月北上川でカビ臭が発生したことの要因の一つとして考えられている田瀬湖のアオコ発生について、本年度の取り組みについて打ち合わせを行いました。

田瀬湖では毎年アオコが発生していますが、昨年はカビ臭の要因となるジェオスミンを発生するアオコが多量に発生したこと。その対策として「田瀬ダム水質検討会」を開催していくこと。関係機関との連絡体制を密にすることが提示されました。

なお、田瀬ダム水質検討会にオブザーバーとして水道事業所も出席することとしました。

田瀬ダム (岩手県)



2 平成27年度漏水調査の実施について

有効率及び有収率の向上対策として、漏水調査業務を平成27年4月30日に契約締結しました。

平成27年度の有収率の目標値84%を達成するためには、時間当たりの無効水量を年間で103.3m³/h以下に維持しなければなりません。



漏水調査現場

5月末の漏水調査の結果(累計)

施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	3	4.20
空気弁	1	0.01
消火栓	—	—
給水管	4	3.06
止水栓	1	0.06
メータ	—	—
宅内	—	—

9件7.33m³/hの漏水を発見しています。

3 石越大巻取水場導水管の水位安定する

4月大巻取水場の安定した水量を確保できず、取水ポンプ井の水位が下降傾向となっていました。原因は迫川の川底の取水の一部が崩れ、その崩れた箇所より土砂が流入し導水管に堆積したことと判明いたしました。今は迫川の水位があるため、8月頃の渇水期に修繕を行う予定としています。修繕までの間は定期的に堆積土砂を取り除き安定した水量を確保していきます。

4 地震発生状況

13日6時12分、宮城県沖を震源とするM6.8の地震が発生(登米市震度5弱)。非常配備として水道事業災害対策本部を設置、主要管路の点検確認のため管工事組合職員と市職員が6班(各2名)体制で、各浄水場等施設の点検を運転業務委託職員等が3班体制で巡視。結果異常がないため、8時40分警戒配備第0号とし、その後被害が確認されないため、12時をもって警戒配備第0号を解除しました。